

## 第2次八代市総合計画第1期基本計画

(平成30年度～令和3年度)

# 重点戦略に係る取組内容等総括表

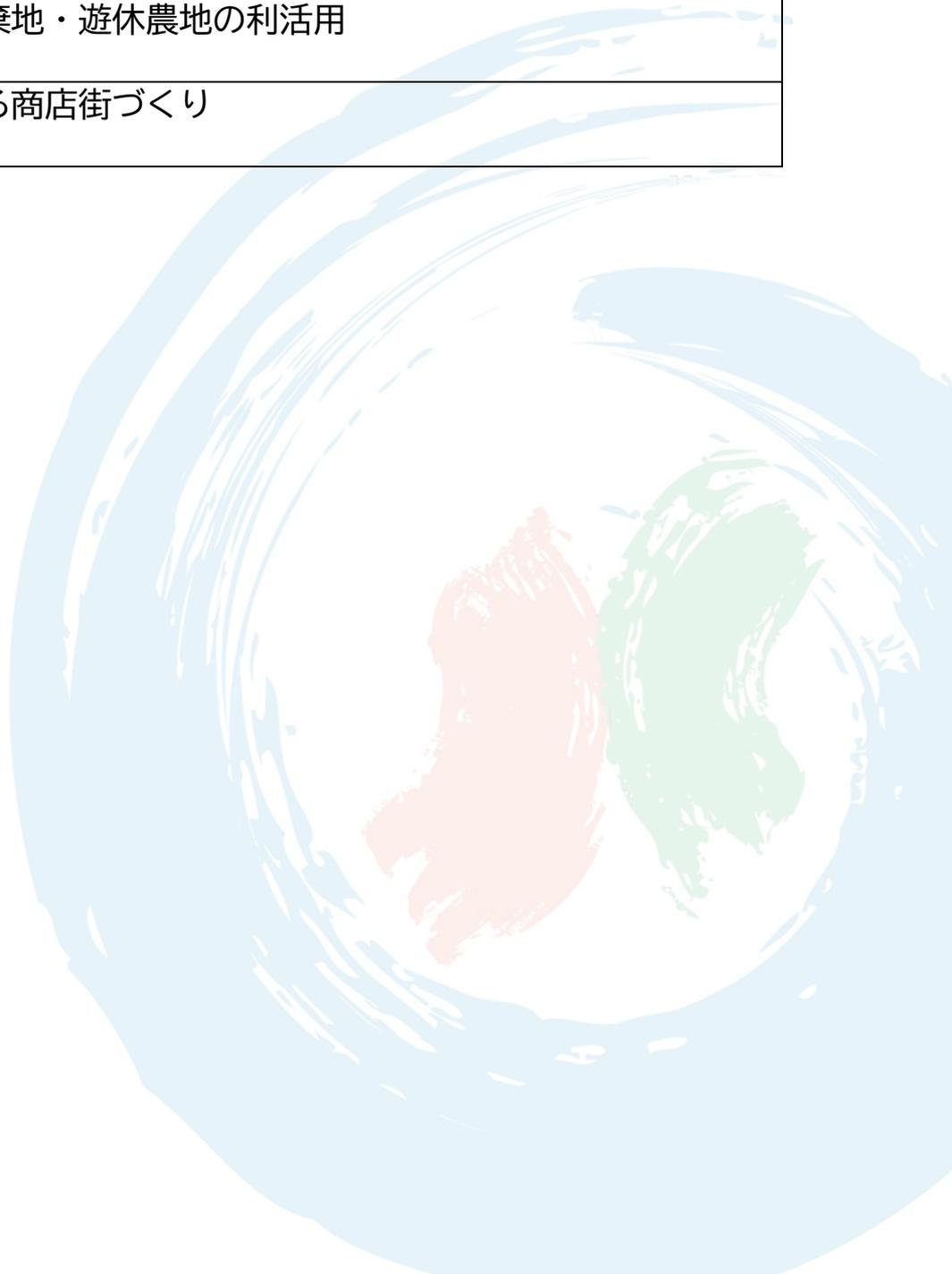
### 重点戦略6 市民意識調査結果による優先取組み

取組① いじめ・不登校への対策

取組② 市職員の意識改革、能力開発

取組③ 耕作放棄地・遊休農地の利活用

取組④ 魅力ある商店街づくり



第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	6 市民意識調査結果による優先取組
重点戦略	① いじめ・不登校への対策
重点戦略	学校・家庭・地域において、子供の成長（発達段階）に応じたサポートを行うとともに、学校でのいじめ・不登校の未然防止や早期対応に取り組みます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
教育部	<p>【いじめ対策推進事業】 令和3年度熊本県公立学校心のアンケートの結果において、「今の学年でいじめられたことがある」と回答している児童生徒が小学校で1177人（18.9%）、中学校で145人（5.0%）となっており、令和2年度と比較すると小学校は減少、中学校はやや増加した。令和3年度もいじめ問題対策連絡協議会及びいじめ防止等対策委員会は新型コロナウイルスの影響で書面開催となった。また、重大事態等により緊急に開催する事には至らなかった。</p> <p>【子ども支援相談事業】 令和3年度の相談件数（231件）であり、令和2年度の238件とほぼ同数であった。コロナ禍における不安定な状況が続いている。今後も本相談室の周知啓発を引き続き行い、保護者や児童生徒に寄り添っていきたい。</p> <p>【不登校児童生徒の適応指導事業】 令和3年度は32人の通級生全員が1回以上、学校へ登校することができ、「ゆるやかな循環型の適応指導教室」としての役割を果たしていると考えている。ほぼ完全に学校復帰できた児童生徒も5人おり、10人の指導員態勢の中、十分な支援ができています。</p>

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
学校教育の充実		—			
指標名		H30	R1	R2	R3
子どもたちが授業を理解していると感じる保護者の割合（%）	計画値	48.3	49.6	51.0	52.3
	実績値	47.9	44.0	52.4	48.3
小・中学校でいじめ・不登校対策が整っていると感じる保護者の割合（%）	計画値	26.8	28.4	30.1	31.7
	実績値	24.8	25.1	27.2	31.6
全国学力・学習状況調査の平均正答率	計画値	8項目のうち2項目で全国平均を上回る	4教科のうち2教科で全国平均を上回る	4教科のうち2教科で全国平均を上回る	4教科のうち3教科で全国平均を上回る
	実績値	8項目のうち3項目で全国平均を上回る	4教科のうち2教科で全国平均を上回る	コロナのため中止	4教科のうち2教科で全国平均を上回る
小・中学校での不登校児童生徒の割合（%）	計画値	小：0.36以下 中：3.49以下	小：0.36以下 中：3.49以下	小：0.36以下 中：3.49以下	小：0.36以下 中：3.49以下
	実績値	小：0.56 中：4.28	小：1.11 中：5.74	小：1.24 中：6.12	小：1.67 中：9.16

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	6 市民意識調査結果による優先取組
重点戦略	② 市職員の意識改革、能力開発
重点戦略	市民の期待に応えるために、市政を担う職員の意識改革と能力開発を強力に進めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
市長公室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の知識・技術の取得及び対人能力の向上等に係る研修を計画的に実施し、職員の市民に対する接遇の向上に努めてきた。</li> <li>・ 例年10月に実施している職員のあいさつ等に対する市民アンケートにおいて、「やや満足」以上の評価が平成30年度の81.7%から令和3年度には+8.3%の90.0%となったのは、取組の成果と考える。</li> <li>・ しかしながら、「普通」「やや不満」「不満」についての回答が全体の1割程度となっており、特に「用件が済むまでの時間」は、他の評価項目と比較すると低い水準にある。</li> <li>・ こうしたことから、引き続き、各種研修への積極的な参加を進めるとともに、接遇向上につながるOJTや職場内研修等を更に促進していく必要がある。</li> <li>・ また、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるため、状況に応じて、オンライン等で研修を実施する等、新しい生活様式に応じた工夫に取り組む。</li> </ul>

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
【第三次八代市行財政改革大綱】 人材の育成と活躍推進		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
職員が丁寧に迅速な対応を的確に行っていると感じる割合（%）	計画値	55.0	60.0	65.0	70.0
	実績値	49.8	51.3	49.0	46.6
自己啓発支援制度を活用する職員数（人）	計画値	65	75	85	100
	実績値	72	84	106	105

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	6 市民意識調査結果による優先取組
重点戦略	③ 耕作放棄地・遊休農地の利活用
重点戦略	耕作放棄地や遊休農地、遊休化が懸念される農地が、円滑に担い手に集積されるような利活用の取組を進めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消事業 耕作放棄地を解消し、営農を行う取組に対して補助を行うもので、令和3年度までの4年間で本事業を活用して再生した農地は0.35haであった。</li> <li>八代市農地集積対策事業【再掲】 担い手への農地の集積を促進するため、経営規模拡大を図った農家に対する農業機械導入補助を行った。令和3年度までの4年間で、機械導入補助件数73経営体、集積面積100haの実績であった。</li> <li>中山間地域等直接支払制度事業 中山間地域等の農地を守るため、集落ごとに農業者が協定を締結し、農地の保全・管理に取り組んでおり、協定農用地の耕作放棄地は発生しておらず概ね順調である。</li> <li>人・農地問題解決加速化支援事業【再掲】 地域単位で将来の農地や人の課題解決に向けた計画「人・農地プラン」を作成し実質化するもので、令和3年度まで175集落で49プランを公表し実質化している。 今後は、人・農地プランの法定化に伴い、令和6年度末までに「地域計画」を策定する。</li> <li>農業委員会事務事業 農業委員会は市内全域の農地の利用状況調査を実施。農林水産部の事業と連携しながら、耕作放棄地の解消及び発生の未然防止に努め、今後も担い手への農地集積、定期的な農地パトロールなどの現地活動に取り組んでいく。</li> </ul>

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
農業生産性の向上による経営の安定		—			
指標名		H30	R1	R2	R3
市の地域経済において農業に活気があると感じる割合（％）	計画値	29.0	30.2	31.5	32.7
	実績値	26.6	26.7	30.1	31.7
農業総所得額（百万円）	計画値	5,650	5,700	5,750	5,800
	実績値	4,702	4,005	3,851	4,623

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	6 市民意識調査結果による優先取組
重点戦略	④ 魅力ある商店街づくり
重点戦略	熊本県が実施する消費動向調査などを活用し、市民のニーズの把握を行い、魅力ある商店街づくりに向けた事業を進めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
経済文化交流部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街活性化事業においては、商店街振興組合などが実施するイベントに対し、補助率をあげ、さらに補助額を増額し、コロナ禍においても集客の向上に繋がる支援ができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策事業では、コロナの影響で売上が落ち込む商店街の支援策として、商店街や商工会議所、商工会などの意見を参考にして、中心地市街地で利用できる「八代まちなかプレミアム商品券事業（総額6千万円 500円の商品券120,000枚を完売）」及び、商工会の加入店舗で利用できる「新型コロナ対策プレミアム付き商品券事業（総額3千6百万円1,000円の商品券36,000枚を完売）」への支援を行い、個人消費の喚起と地域経済の回復に繋がった。</li> <li>・成果指標としての目標値までは到達しなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響下で現状維持できたことは評価でき、総合評価はAとする。</li> <li>・今後も引き続き商店街振興組合等や商工団体と協議を図りながら、中心市街地の活性化に向けて取り組んでいく。また、社会情勢を見ながら時機を逸することなく景気活性化策を実施していく。</li> </ul>

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
魅力ある商店街づくりの促進		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
地域（地元）の商店街が賑わっていると感じる割合（％）	計画値	6.7	7.1	7.5	8.0
	実績値	6.5	7.0	6.2	6.5